

【共通の設問】「なり」を識別せよ。(答え・解説は解答編)

【第1部】基礎編

Q1.

これは花なり。

Q2.

男ありけり。「我が君なり」と申すなり。

Q3.

静かなり。

Q4.

鐘の音、響くなり。

Q5.

春なり。

Q6.

あはれなり。

Q7.

鳥の鳴くなり。

Q8.

我れ古典を学ぶ者なり。

Q9.

物音、聞こゆなり。

Q10.

風なりけり。

Q11.

月清き夜なり。

Q12.

よろづなり。

Q13.

海面、なほ平らかなり。

Q14.

我れも歌詠むなり。

Q15.

鶯さへづるなり。

Q16.

我れ古典の人なり。

Q17.

都人、京を発つなり。

Q18.

風吹くなりけり。

Q19.

名にし負ふ都鳥なり。

Q20.

春になりぬ。

【第2部】標準編

Q21.

いと尊き人なり。

Q22.

物言ふなり。

Q23.

都に出で給ふなり。

Q24.

風静かなり。

Q25.

心ある人にこそありけれ。

Q26.

春雨降るなり。

Q27.

古典の才ある人なりければ、皆敬す。

Q28.

月かたぶくなり。

Q29.

我れ古典塾の主なり。

Q30.

嵐の音、いまだ止まずなり。

Q31.

あらたなり。

Q32.

月の出づるなり。

Q33.

雨の音聞こゆなりけり。

Q34.

我れ古典塾の弟子なりけり。

Q35.

海辺に住む人なり。

Q36.

風吹く音なり。

Q37.

心知る人なりけり。

Q38.

物言ふなりけり。

Q39.

あはれなる御方なり。

Q40.

春の風吹くなり。

Q41.

古典の道、なほ難きなり。

Q42.

物のあはれ知る人なり。

Q43.

心なりけり。

Q44.

海なる船、いま帰るなり。

Q45.

古典の文、深きなり。

Q46.

心ある人なりしが、いま見えず。

Q47.

春の野、若菜摘むなり。

Q48.

大臣なりけり。

Q49.

名にし負ふ都鳥にてあるなり。

Q50.

仏前に祈り給ふなりけり。

【第3部】 応用編

Q51.

いみじき宿世の人なりけり。

Q52.

風の音、いまだ激しきなり。

Q53.

月明らかなりけり。

Q54.

古典の道、難きなり。

Q55.

春来るなり。

Q56.

心ある人にて、いとあはれなりける。

Q57.

仏に祈り給ふぞあらまほしき。

Q58.

我れ古典塾の主にてあるなり。

Q59.

月の都の人なりけり。

Q60.

雨止みつなり。

Q61.

心ありし人なり。

Q62.

春の野に若菜摘むなりけり。

Q63.

静かなりける夜。

Q64.

都の中、いと賑はしきなり。

Q65.

物のあはれを知る人なるを、世にあらず。

Q66.

月見る人多くなる。

Q67.

いみじき才ある人なるべし。

Q68.

風さやかなる夕暮れ。

Q69.

古き友、なほ生けるなりけり。

Q70.

春になりぬれば、花咲く。

Q71.

心ある人なるぞよかる。

Q72.

月の都の人なりけり、と申す。

Q73.

風吹くなりけり。

Q74.

物のあはれ知る人ならぬ。

Q75.

月明らかならむ。

Q76.

君や心ある人なるらむ。

Q77.

風吹くと聞こゆなり。

Q78.

古典の道、深きなりけり。

Q79.

月の都の人なるを、世の人は知らず。

Q80.

古典塾の生徒なれば、なほ古典を学ぶ。

【第4部】入試レベル

Q81.

男ありけり。その男、身を要なきものに思ひなして、京にはあらじ、東の方に住むべき国求めにとて行きけり。もとより友とする人、一人二人してい行きけり。道知れる人もなくて、まどひ行きけり。三河の国、八橋といふ所にいたりぬ。そこを八橋といひけるなり。

Q82.

行く川のながれは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。世の中にある人とすみかと、またかくのごとし。

Q83.

春は名のための風の寒さや。谷の鶯歌は思へど、時にあらざるなればこそ、声を立てね。

Q84.

唐土に渡りたりける人なり。

Q85.

月明らかなる夜なるを、雲なくしてさやけし。

Q86.

我れ古典の才ある者なれど、いまだ才に達せず。

Q87.

月の都の人なりけりと申す。

Q88.

嵐山の紅葉、見る人多くなりぬ。

Q89.

帝、御殿の内におはすなり。

Q90.

風吹くと聞きつなり。

Q91.

月の都に住む人なりけり、と聞く。

Q92.

雪降るなりけり。

Q93.

古典の文を解する人なりしを、いま忘れぬ。

Q94.

物のあはれを知る人ならば、これを尊しとせむ。

Q95.

風吹く音、いと激しきなり。

Q96.

海辺に住む人らなりけり。

Q97.

月清く照る夜なりけり。

Q98.

古典の道を究むる人なるべし。

Q99.

春にならば、花咲かまし。

Q100.

行く川のながれは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。世の中にある人とすみかと、またかくのごとし。